

瀬田川プランクトン調査結果速報

～第27報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年10月6日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Rhodomonas sp.
(ロードモナス)
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μmと小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。
2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

← たまごです。

コメント

植物プランクトンは、褐色鞭毛藻のロードモナスや珪藻のメロシラ グラヌラータが多く見られた。アオコ形成種のアナベナやマイクロステイスは徐々に減少傾向にある。総細胞数は、昨年と比べると多く推移している。動物プランクトンは、ハネウデワムシが多かった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	95

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Synchaeta stylata</i>	30

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年10月6日

第27報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	1		
(藍) <i>Anabaena spiroides</i> var. <i>crassa</i> *	4		
(黄) <i>Chlorocloster</i> sp.	10		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	110		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	24		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	60		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>lanceolata</i>	20		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	300		
(緑) <i>Schroederia antillarum</i>	10		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	13		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	1		
(藍) 藍藻綱	5	0.8	6.3
(黄) 黄緑藻綱	10	1.5	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	20	3.0	1.1
(珪) 珪藻綱	214	32.3	30.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	1.5	0.3
(褐) 褐色鞭毛藻綱	380	57.3	20.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	24	3.6	40.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	663	総体積	8.93E+05
種 類 数	15	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)
ただし*印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。